

平成26年11月29日

蕨市長 頼高 英雄 様

蕨市行政改革プランに係る市民懇談会
会長 林 大樹

蕨市の新たな行政改革プラン「コンパクトシティ蕨」 将来ビジョン推進プラン(素案)に対する意見について

蕨市行政改革プランに係る市民懇談会は、市長より委員の委嘱を受けて、平成26年7月26日から、本日を含めて5回の会議を開催し、蕨市の新たな行政改革プラン「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プラン（以下「新プラン」という。）の素案について、市民・民間の視点から、意見交換を行い、議論を重ねてきた。

新プランの素案については、概ね、懇談会での議論を踏まえた内容となっており、蕨市の最上位計画である「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの推進に向け、市民との協働を一番の推進力とし、持続可能な都市経営を進めるための行動指針となるもので、新プランで掲げる取り組みを着実に推進されたい。

なお、新プラン素案の議論のなかで委員から出た意見について、下記のとおり「推進に係る総合的な意見」と「経営戦略の各柱に係るその他意見」に整理したので、新プランの決定・実施にあたっては、十分配慮・検討されたい。

記

■新プラン素案「推進に係る総合的な意見」

- ・市職員は、新プランについて十分理解し、市民に周知することで、市民との協働により新プランを実施されたい。
- ・行政と市民の役割分担を明確にし、新プランの進捗状況を定期的に公表するなど、常に市民に対する説明責任を果たすよう努められたい。
- ・蕨市の最上位計画「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンを推進するための計画として、市民の意見やアイデアを踏まえ、実施されたい。

■新プラン素案「経営戦略の各柱に係るその他意見」

1. 協働の更なる推進

- ・テーマコミュニティの活動を活性化するために、つながるバンクの登録者がさまざまな分野で力を発揮し、町会など、地域コミュニティの皆さんと一緒に活動をしていくことが大切だと考えている。
- ・協働のまちづくりハンドブックについて、わらびネットワークステーションとの連携などによる有効活用を図られたい。
- ・協働事業提案制度について、より多くの団体から応募があるように努められたい。
- ・性別・年代・職業などターゲットを想定して、より効果的な魅力の発信に努められたい。
- ・各項目について、外部の視点で見た蕨市のイメージ、魅力などの意見を取り入れ、実現性を判断されたい。
- ・市の職員も一市民であるので、クリーン蕨市民運動など、町会の活動に積極的に参加されたい。
- ・協働に対する市の本気度を示すためにも、協働を所管する担当部署の体制の充実に努められたい。
- ・ニーズを踏まえて、課題解決のための制度設計をして成果を得るという流れを明確にするためには、まちの魅力や産業の活性化など、定量的に図れる指標を示していくことが大切だと考えている。
- ・魅力を創出するためには、子どもの教育、緑豊かな環境を充実することが大切であると考えている。
- ・駐車場であった土地を買い取り、芝生を植えた広場を整備し、コンテナ、オープンカフェなど、小規模な地域の団らんスペースを作っている事例があるので参考にされたい。
- ・協働の担い手、受け手として外国人の方々の参画や活用を進められたい。

2. 組織力・職員力の更なる向上

- ・新プランの進捗状況の検証を行うにあたっては、さまざまな視点から実施されたい。
- ・大学連携について、研修生の受入れは、蕨市の有用な人材の確保にもつながると思うので、積極的に進められたい。
- ・出前講座について、資格を持っている職員が研修できる内容があれば、それを活用した講座を開設し、周知を行うことも検討されたい。
- ・職員提案制度で出た提案で有効な内容の提案があれば施策に活用されたい。

3. 自律した行財政運営

- ・ 収納率を向上させる方策について、先進市の取り組みを参考にされたい。
- ・ ふるさと納税について、蕨市民で他自治体にふるさと納税を行う人が増えれば、制度の仕組み上、蕨市の税収は減ってしまう。市の税収がどれくらい減るかを具体的に示すなど、制度や納税について積極的にPRされたい。
- ・ 土地開発公社健全化計画は非常に重要な取り組みなので、目標年度に関わらず、なるべく早期に推進されたい。
- ・ 歳出を抑える努力は今後も必要と考えるが、中心市街地の活性化によるにぎわいづくりを進めるなど、新たな歳入確保について積極的に取り組まれたい。